

在宅支援グループ みんなの手

発行

特定非営利活動法人

在宅支援グループ みんなの手

〒507-0016

多治見市金岡町 2-34-2

TEL (0572) 24-3798

FAX (0572) 23-8854

ホームページ

<http://www12.ocn.ne.jp/~minanote/>

通信

20号

H19.5月

8年めに感謝です

グループができて8年めになります。いい出会いとラッキーに恵まれて
継続できることに心から感謝しています。

お忙しいところ恐縮ですが、ぜひ、総会へ来ていただけませんかでしょうか。
総会の資料は連絡をいただければお届けしますので、よろしくお願ひします。

総会のご案内

〈とき〉平成19年5月20日(日)

〈ところ〉みんなの手 多治見市金岡町 2-34-2

電話(0572)24-3798 FAX23-8854

9:30~10:20 第6回 通常総会

10:20~10:40 デイサービスの厨房で作ったお菓子でティータイム

10:40~11:00 アトラクション

その1 大池&宮野の手品ショーPART II

昨年もお披露してくれた10代のおふたり、
腕にみぎきびがかりました(๓)

11:00~12:00 アトラクション

その2 二胡の演奏 アジア胡琴音楽院 勝川教室 水曜会

♪「丘を越えて」「みかんの花咲く丘」「知床旅情」「ふるさと」

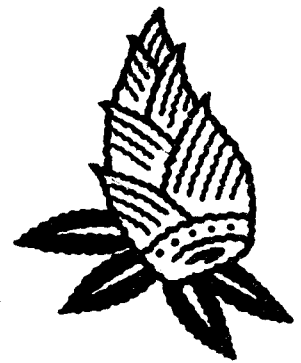
「蘇州夜曲」「昴(すばる)」「エーデルワイス」「ローレライ」など

二胡は中国の楽器で哀愁を帯びたすてきな音色です。
知っている曲を二胡に合わせて歌いましょう。

《 会員になっていただけませんか 》

みんなの手は会員制で、年会費2000円をいただいて運営につかわせていただ
いています。会員の方は自主サービスもご利用になれます。更新の時期になりました。
どうか、よろしくお願ひします。会費は振り込みもしていただけます。

〔郵便振替〕NPO法人 在宅支援グループ みんなの手 00880-7-87268



おいしい
お菓子作り
出ます!

3月11日(日)13時半～総合福祉センター4F 大会議室において、「あったか地域の大家族」—富山型デイサービスの13年—と題し、「このゆびと一まれ」代表、惣万さんの講演が行われました。当日は227名の方にご参加いただき、惣万さんの楽しいお話に会場は終始笑いに包まれました！皆さんの感想をご紹介します。

みんなが満足でも老いと死を信じて

惣万さんのお話を聞いて良かった。感想はきりなくありますが、二つのことを書きます。

ひとつは、「このゆびと一まれ」で看取りをした方が「覚悟を決めて」死を受け入れたエピソードに心動かされました。できれば私もいろんな人達と一緒に老いと死を受け入れたい、若い者たちに私の老いと死を見せてやりたい、そんな風に生きて行こうと覚悟を決めました。

もう一つは、惣万さんが赤十字の理念「明日の100人より今日の1人」を口にされた事です。時代が変わっても、受け継がれるものは変わらないのだ、という思いに胸が熱くなりました。そして、富山方式の若葉たちが、あちこちに芽生えていることに胸がときめきました。自分も満足、まわりも満足、行政も満足できる老いと死のしくみが実現できる事を信じています。素晴らしい会をありがとうございました。(賛助会員 埴 裕子)

豊かな人間関係の中で人は育つ

「富山型デイサービス」この言葉聞き、最初に思い浮かんだのは、何年前かに読んだ本！「親子じゃないけど家族です」そう、阪井山佳子さんの書いた本です。その上台となった、富山の惣万さんが講演に多治見に来られる。多治見には富山型をモデルとした「みんなの手」がある。私はその事を知っただけで嬉しく、胸がウキウキしました。そんな気持ちで参加した講演会は、とても中身のある物でした。「豊かな人間関係の中で人は育つ」まさにそのとおり！元氣の出る講演会でした。

(老人保健施設スタッフ 林)



イラスト まさこ

元氣をもらった講演会

行政に携わる私は日々「〇〇するには□□がいります」「△△の方しか利用できません。」等と言っている。昨日も問い合わせの電話に「それは助成の対象外です。」と答えたら「何のための××制度や！」と叱られた。何にでも「OK!」と言えたら、私だってどんなに楽なことか。しかし、言い訳させていただけるなら、皆さんからお預かりしている税金、保険料を大事に公平に使うには基準があつて、手順がある。辛いところである。

しかし、惣万さんが「私たちは今日の1人を救うけど、明日の100人を救うのは行政だ」と話されたので、私は少し救われた。講演会の後、「明日の100人を救うために自分は何ができるだろう。」と考えた。答えはもちろんまだ出ていない。私も家に帰れば一市民で、一親で、一利用者である。今は育児に明け暮れるが、もうすぐ親の介護が始まる年代である。明日の100人を救うことができるように、「生の声を聞く耳、感じる心を常に持っていたい。」そして、「実行する力を付けるよう努力したい。」と思う日々。

「みんなの手」さんの、手づくりで素敵な講演会に参加させていただいたお陰で、元氣をもらいました。ありがとうございました。また、今回のような素晴らしい企画をしてください。是非参加させていただきたいと思います。

(匿名)

「このゆびと一まれ」で勉強できますように

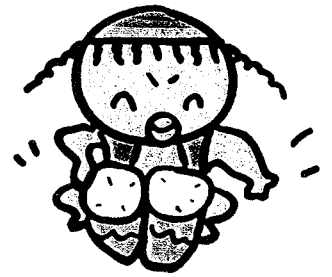
お会いできた事、富山弁での心温まるお話が聴けて、私の宝物になりました。ご著書も一晩で読みました。犬と人間の違い？そういう発想に驚きました。犬は子どもを虐待しない。「赤ちゃんポストもない」人間の哀しみを思います。(社会を構成している人たちがみんなを受け入れるのが、ノーマライゼーション)ということが、富山型デイサービスの魂なのでしょう。

私たち民生児童委員は、いろいろと研修をしています。この四月末には高山市にある丹生川苑(特別養護老人ホーム)で勉強をさせてもらいます。毎年秋には、一泊で研修をしています。今年の秋は、富山に行きたい、行きたいと大きな声で言っています。「このゆびと一まれ」で勉強できますように。

(民生児童委員 杉山 麗子)

～富山へ研修に行ってきました～

3月24(土)・25(日) スタッフ8名(日帰り3名、泊り5名)で
富山型「イセ」にぎやか10周年記念イベント&かつば庵(第2のにぎやか)見学
+ 惣万佳代子さんの“このゆびと一まれ”も見学させていただきました。



24日の記念フォーラムでは

- *惣万さんとともに「富山型「イセ」」を立ち上げた西村和美さんが経緯や現状・展望を
- *介護界の大御所・三好春樹さんが『無意識の豊かさ』『介護とは、いかに老人にふりまわされるか』
- *介護技術の魔術師・青山幸広さんが『どんな人にも当たり前の介護を』(実技も交えて)
- *にぎやかスタッフ・なつちゃんによる『スタッフの本音』

そして最後に“にぎやか”代表 阪井由佳子さんによる“にぎやか”とにぎやかとともに関わってきた人々に対する思いを

夜の部の懇親会(実はにぎやかブラボ-パーティー)では

富山県や富山市の偉い人も、高齢者も障がい者も大人も子供も、スタッフも利用者さんも歌い、踊り文字通りにぎやかなパーティーに?!

最後に利用者・スタッフみ～んなが舞台上上がっている時、サプライズプレゼントで“にぎやか”の歌が…舞台を見つめる阪井さんの顔がとても印象的でした。

死ぬまで面倒みます
ありのままを受け入れます
いいかげんですんません

あつちゃん
なつちゃん
このゆびと一まれ

しめんどろ
しめんどろ
しめんどろ

左の言葉が“にぎやか”のチラシにあります。
阪井さん曰く、『初めから、最後まで看取ると思っただけではなく、関わっていくうちに自然に思うようになった。最後まで看るって、すごく重たいことだよでも、ほっとけんがよ』
そう言った阪井さんの眼差しが真っ直ぐ前を向いているように感じました。

翌日に“にぎやか”さんを訪れましたが、そこには前日のフォーラムやパーティーのビデオを家族のように集まり、顔を寄せ合って観ている姿がありました。

まだオープン前で、生活感が感じられなかった高級旅館のような“かつば庵”もどんな空気が流れるか楽しみです。急遽、見学させていただいた“このゆび”さんでも、非日常ではなく、特別ではない日常の時間を一緒に過ごさせていただきました。それぞれのスタッフが色々なことを感じ、考えた研修でした。

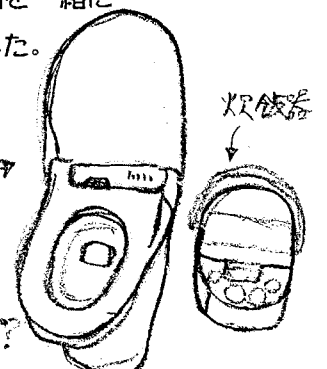
スタッフの感想あれこれ

『付き添っているのではなく、寄り添っているのだなあって思った』

『排泄や食事の世話は介護の作業で、最後に寄り添うことが介護だなあ』

(まとめ:スタッフ 渡辺)

これは、にぎやかの
トイレの一場面!
みま所に炊飯器か???





べてるの家 研修報告

といえるものは
あるのだろうか....

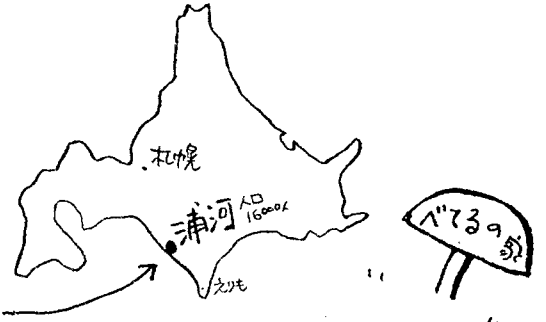
(3月14.15.16日 2泊3日の旅!!)

前回の通信で紹介させていただいた「べてるの家」へ4人で行って来ました!

※べてるの家とは統合失調症など精神障がいを経験した・している人達が、事業などをしながら共に生活している所です。

北海道浦河町

は、ココです

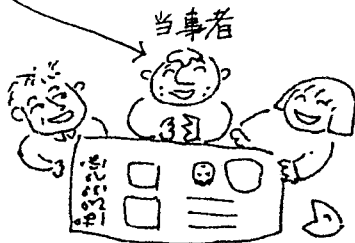


「どんな所やろ?」「何をしたらいいんやろ?」不安と期待でドキドキしながら「べてるの家」に到着。二階の事務所のドアを開けると、たくさんの人・人・・・誰がスタッフなのか、当事者の方なのか、さっぱりわかりません。

Mr べてるの早坂さんからオリエンテーションを受け、その後SST (生活技能訓練)・事業ミーティング・浦河日赤病院のデイケア・「べてるまつり」の会議・金曜ミーティングの参加・作業所見学・共同住居・ショップでの交流などで、2日間は、あつーーという間に過ぎてしまいました。

二階の事務所のドアを開けた時から、私たち4人はずっと笑っていた気がします。何が起こるか分からない。問題が起きてあたりまえ。それでいいんだ、というあたたかい空気。

問題が起きないように、と先回りをしてしまう・・・そんな自分を考えさせられました。



参加したスタッフの感想です。

べてるで暮らしたい
私がいなくなったら、北海道へ
行ったと思って～

(作業療法士)
OT

すぐに ヒョウタン
ニックネームを
つけてもらった



こんぶが海でタニが
ごなはのは....

べてるで いいタニ
出すためです

べてるの家の理念に限りません。
安心してさぼれる職場作り
弱さをきずずに
偏見差別大歓迎
場の力を信じる
三度の飯よりミーティング
などなど
婦長

認知症の人達も同じなんだ。
そのままでもいい。
何かしなくてもいいんだ。
と思ったら楽になった。
ありのままですらられる居場所
が大切だなあ

看板娘

(べてる関係の本やビデオを見たい方はお電話下さいね)

たくさんの苦勞や弱さがあっても、受け止めてくれる仲間がいるっていいよなあ。
母

まとめ：スタッフ 山田 (ニックネーム 母)

歌を通した

ふれあいのひととき♪

一年ほど前から、月曜日デイの利用者の方々と、歌を通して語り合ったり、歌ったり、楽しいひとときを過ごす機会を頂きました。

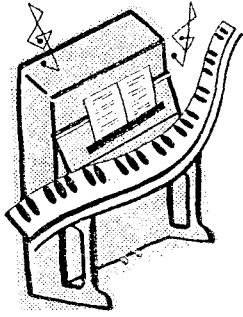
スタッフの方が用意して下さいました、童謡唱歌集と歌謡曲集の二冊を、利用者の方がめいめいに見て、目に止まった歌を皆で歌っています。

皆さんそれぞれの思いや好みがあり、いろいろな歌を口ずさむ方、じつと歌詞を見つめている方もみえます。

カラオケでのどを鍛えた方、詩吟の先生をしていた方、ダジャレやかけ声や拍手をタイミングよく入れる方、娘さんのピアノを思い出される方……等々。

歌にまつわる思い出や季節や草花のこと、昔の行事のことなど、歌は様々な話題を提供してくれます。

歌に話に花が咲き、雑談のようなひとときですが、利用者の方々と、歌たちに感謝です。これからもよろしくお願ひします。
(松本 洋子)



音楽療法プログラム

赤ちゃんも！

みんなの手に、2才の女の子が来てくれました。

ご利用者の方々は、「かわいい！」と、順番にひざの上に抱っこしてくれたり、食事の時は食べさせてくれたりします。

だんだん慣れてくると、女の子が眠くなるのを

ご利用者さんが気づいて、寝かしつけてくれるようになりました。

みんなの手に来始めたころは、まだ歩けない状態でしたが、

現在はつかまり立ちから、つたい歩きで、どこかへ行ってしまいます。

それをみんなでヒヤヒヤしながら追っかけています。女の子が来てくれる時は、そんな風にみなさんが温かい目で見守ってくれています。



富山型っぽい 😊

みんなの手
デイサービス

おいしい！と評判のデイサービスのごはん。

4人の厨房スタッフが、ヘルパーの仕事もこなしながら、毎日心を込めて作っています。

写真ではこのおいさを

伝えられなくて

ごんねん 😊



生徒さんの手紙に泣けました

一月十九日、おあしすデイサービスで、小泉中学校二年一組の生徒さん達の慰問で、合唱の披露がありました。

私の主人も週二回お世話になっており、その折に三名の生徒さんから、心温まるお手紙をもらってきました。

手紙には、勉強や部活の間に一生懸命練習をし、歌は私達の財産である、と書いてありました。文章も文字も可愛らしく、イラストも中学生でこんなに素敵に書けるなんて驚き！

私は元気をもらい、感動し、うれしくて涙があふれました。

二人の息子たちは今四十代。中学は小泉中学を卒業しています。

中学時代は、共にバレーボールの部活で、試合の時には、ユニホームや泥まみれの大きな靴を洗ったことが、ついこの間の様な気がします。

思いついて、私も生徒の皆さんに手紙を書きました。

「本当にありがとうございます。勉強や部活、また、夢に向かって頑張ってください」と。

利用者家族 (S・Y)



ケアマネージャーとして
五年お世話になります
みんなの手

おまけの 手紙

私の友人が3月11日(日)の惣万佳代子さんの講演の後、

「第1回の地域交流会のときと比べると、代表の野田さんが堂々として落ちついていて、お話が上手になってたわ・・・」と言っていました。

と、いうことは、ずっと前は、オドオドしてて、落ちつきがなくて、お話が下手だったんですね。野田さんは、進化するみんなの手、バンザーイ！（利用者家族）

ホームページ、やっと更新できました。

賛助会員の浅田さんと、ITに詳しい藤田さんのおかげで、数年ぶりにリニューアル！

ぜひ、見て下さいね。「みんなの手」と検索しても出てこないかもしれません。

面倒でも、アドレスを入れて下さい。音声入りですよ。

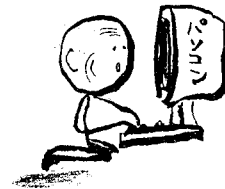
<http://www12.ocn.ne.jp/~minanote/>

～ は テルダ ー ぞう

〈スタッフ紹介〉

みんなの手、三年目突入。介護、というよりは、仲間や利用者さんとの関わりを楽しみながら、仕事をさせて頂いています。

仕事でありながら、「ありがとう」と声をかけて下さることにおごらず、少しでも寄り添える様、努力したいと思っています。(丹羽静和)



〔編集後記〕

予報とは違って、今年の桜は、本当に長く私達の目を楽しませてくれました。私は、この季節が大好きです。

(花粉症さえなければ・・・)

新年度も、みんなの手をよろしくお願ひします！（樋口）